

## ■作品のバージョンアップ・ソフトウェアとしての一面

作曲者は作品をソフトウェアの一種としてとらえています。ソフトウェアである作品には今後の見直しに伴って、追加、変更、削除があり得ます。その区別のために作品にはバージョン名を付与し、改訂された場合は新たなバージョン名を付与して区別します。

- ・追加：新たな楽曲(変奏)を加えること、あるいはこれまでの曲に書き足すこと
- ・変更：これまでの曲について、歌詞、音符の一部を変更すること

変更の理由としては、歌詞自体の見直し、歌詞の割り付けの見直し、歌詞提案の採用、旋律や和声の改良、和声法上の不具合是正等があります。

この楽譜の印刷以降に生じるバージョンアップ については、インターネットの Web ページ上に情報公開し、最新バージョンの楽譜を以下の URL からダウンロードできるようにします。

<https://ommo.info/opus/gsv/>

## ■音楽のレイヤ構造での底辺プラットフォームとなる「骨組み」としての作曲

作曲者は音楽を次のようなレイヤ(階層)構造で捉えます。

**表現レイヤ**    テンポとその変化、強弱とその変化 等

**音色レイヤ**    楽器等の割り当て、音色指示、オーケストレーション 等

**構造レイヤ**    音符/休符、調性/転調、拍子/リズム/変化、和声/対位、声部間の関係性 等

構造レイヤには底辺のプラットフォームとして音の骨組みを置きます。すなわち音符で表される音の動きによって旋律線がどう形成され、旋律相互の組み合わせがどのように対峙し、どのようなハーモニーを構成するか等を考案し、楽譜として記述する・ここまでを「作曲」とします。音色や表現等はもっと上位のレイヤに位置付け、ここには含みません。建築設計に例えると、点、線、面をどう配置して空間を切り出すのかを考案し、その構造自体によって強さと美しさを生み出すアイデアまでを一区切りとし、材料、仕上等までは規定せず、多様な可能性を残した状態に相当します。

上記のプラットフォームの上に、1つ上位レイヤのプラットフォームとして楽器指示や声楽パートの割り当て等を重ねます。すなわちここでは各声部に適した楽器や声楽パートの割り当て(ソロ、重唱、合唱等)を指定します。ただし限定はされません。たとえば器楽についてはオルガン(ペダル鍵盤付)のみ、弦楽四重奏、木管/金管を含むオーケストラ等、様々な構成を可能としています。演奏の機会、会場、参加可能な楽器奏者などに合わせて柔軟に組み合わせを考案する想定です。そのためには別途オーケストレーションした楽譜の準備等を必要とする場合もありますが、その際は作曲者に限らず、精通した意欲ある方に委ねる可能性も想定しています。

アーティキュレーション等は上記 2 段目のプラットフォームの上にさらに上位の表現レイヤにあるものとして捉えます。この部分は主に演奏者の領域と捉え、この楽譜上では限定した指示をほとんど記していません。作曲者自らが演奏者となる場合にはその指示が生じ得ますが、それを印刷譜面には固定せず、自身の手持ち楽譜への書き込み程度に止めて、異なる発想/表現の可能性を残しておくスタンスをとります。

## ■著作権について

本作品には クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(Creative Commons license)の BY SA を適用します。



すなわち、厳格な「All rights reserved」著作権ではなく、パブリックドメイン(保護期間終了あるいは権利放棄)でもなく、その中間にあるクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの適用により、作り手の権利が守られつつ、誰もが平等に作品を共有することを目指しています。

Creative Commons については以下を参照してください。

<https://creativecommons.jp/>

---

## ■参考演奏時間

70分弱

---

キラキラ星変奏曲 Version 2.0

- 主題と 1+40 の変奏で歌い綴るイエス・キリストの足跡 -

2022年4月27日 第1刷 発行

著者 松尾茂春

挿絵 松尾一郎  
編集/デザイン 松尾茂春

---